

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

.理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

.安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

.サービスの成果に関する項目

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -

【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議の上記入すること。

各自己評価項目について、「取組みの事実」を記入し、取組みたいに を付け、適宜その内容を記入すること。

「取組みの事実」は必ず記入すること。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。
(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。

チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

事業所名 グループホーム 下の茶屋

(ユニット名) 木 蓮

記入者(管理者)
氏名 渡辺 伸美

評価完了日 平成 20年 9月 22日

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	(自己評価)		
			利用者さんが昔から住んでいる所から放れずにいたいと入所を決めて下さった方も多く、今までのつながりを切らないで生活できる事を望み、つくりあげている。		自治会長や民生委員とのつながりが深く、私達の理念を共感、賛同してもらえる。
			(外部評価)		
			事業所では、「地域の中で交流やふれあいを密にして、楽しく生きがいをもてるように」という理念を掲げ、認知症や事業所のことを地域の方に理解していただけるよう、取組みをすすめておられる。		
2	2	理念の共有と日々の取組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	(自己評価)		
			理念は管理者と職員が話し合いながら作成した。毎朝、決まった時間に日勤者が一つを読み上げ、特に意識して利用者に関わりケアをしている。		今後も一層、実践にむけて取組みたい。
			(外部評価)		
			毎日の朝礼時、職員が理念を読み上げ、共有に努めておられる。		
3		家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	(自己評価)		
			理念は説明と共に家族へ郵送している。ホーム便りや訪問にも地域の中での生活を報告していきたい。		家族会・運営推進委員会で広めていきたい。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. 地域との支えあい					
4		隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	(自己評価) 近くにある遊歩道を毎日のように散歩するうちに近所の人と声をかけあったり、花や木の実を頂いたりする。		声をかけてはいるが、立ち寄って頂けるようなホームにしたい。
5	3	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	(自己評価) 運動会・文化祭・太鼓祭り等行事に参加させて頂き、交流を深めている。 (外部評価) 利用者は、散歩時に、地域の方とおしゃべりされたり、お花等をいただくこともある。近隣小学校の運動会では、利用者が借り物競走に参加された。毎年、夏休みに、中学生が車椅子の掃除やお話し相手のボランティアに来てくれている。近くのお寺の行事には招待いただいている。		今後も積極的に参加したい。 事業所の行事へ、地域の方を招くような機会作りを考えておられた。又、地域の方達とのさらなる交流に向けて、散歩時等に気軽に立ち寄っていただけるよう、声かけをしていきたいと考えておられた。
6		事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	(自己評価) 散歩や近所の人との交流の場である遊歩道を月の始めに掃除している。		清掃をし始めて、一年が経つが、他に役に立てる事はないかと話し合っている。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
7	4	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	(自己評価) 一年の反省と見直しの機会だと思っている。評価の三ヶ月程前から会議・ミーティングの時、改善に向けて話し合っている。 (外部評価) 職員は、手分けして自己評価に取り組み、管理者がまとめられた。前回の評価結果を受けて、おやつ・手芸品を利用者と職員で楽しみながら手作りされる等、楽しむ機会を増やされた。		新しい職員もいるので全員に浸透していきたい。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
8	5	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの 実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	(自己評価)		
			開始から2年が過ぎ、地域の人にも積極的参加し、意見や質問を頂いている。職員も管理者以外に一人参加している。		呼びかけし、家族の参加を募っているが一部の家族参加にお願いするに至る。 今後、多くの家族に参加してほしいと願う。
			(外部評価)		
			会議では、事業所の現状や行事の報告をされている。自治会長の方より、利用者同士のトラブルについて解決策のアドバイスをいただいた。会議時、出席者と市内の事業所を見学された。		地域包括支援センターの担当者より、会議の進め方についてアドバイスをいただき、事業所では、報告だけでなく、いろいろな議題を提案して、会議内容の充実を図りたいと考えておられた。
9	6	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	(自己評価)		
			成年後見制度を一緒に取り組んでおり、行き事する機会は増えている。		今後も努めていきたい。
			(外部評価)		
			介護相談員の訪問が毎月あり、食事のメニューについて等、利用者の希望を聞き取ってくださっている。市主催の管理者会議に参加し、運営推進会議の進め方等について話し合われた。		
10		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	(自己評価)		
			研修には出来るだけ参加するようにしている。今後に向けて知識等を学んでいきたい。		
11		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見逃されることがないよう注意を払い、防止に努めている	(自己評価)		
			虐待についての研修は事業所内でも何度も行っており、注意・防止に努めている。		今後も学習の機会を持ち他所での研修にも参加したい。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
12		契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 見学時の様子は、説明と共に疑問等に答え、契約時には再度十分な説明を行っている。また解約時には事前に必要に応じて新しい施設を紹介等、トラブルが生じない様十分話し合いを行っている。		今後も努めていきたい。
13		運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) お茶屋の時間等に、思いや希望が出せる様な雰囲気作りを行い、そこでの意見等を運営の見直し等に取り入れている。		日々の暮らしの中で、利用者の気持ちや言葉を傾聴し、活用していきたい。
14	7	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	(自己評価) 日々の暮らしぶりや状況を来所時に報告相談を行っている。必要に応じて電話連絡文面での報告を行っている。		今後も協力しながら努めていきたい。
			(外部評価) 毎月作成しているホーム便りに担当職員が手紙を添え、ご家族に送付しておられる。又、ご家族の来訪時には、日々の様子等を報告され、行事の案内もされている。健康状態等は、電話で連絡されている。		
15	8	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 来所時等を利用し、意見、感想、要望。苦情を聞き運営に取り入れている。 玄関前に意見箱も設置し、家族会も開催している。		家族等から施設入口付近の草が伸び車中より道路が見えにくいと要望があり、短く切って対応する。
			(外部評価) 年1回、家族会を行事に合わせて開催されている。ホーム便りを通して、ミシンや使用済みの布等の提供をお願いされることもあり、ご家族は快く提供してくださっている。		管理者は、家族会をもっと活発な会にして、ご家族からのご意見等を多くいただけるよう、すすめていきたいと考えておられた。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
16		運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) 職員の意見は大切にし、参考にしている。		今後も、個別面談やミーティングを開き、意見を引き出せる工夫に努める。
17		柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	(自己評価) 利用者の状態にあわせた勤務のローテーションが組まれている。		
18	9	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	(自己評価) 退職、その他のやむを得ない場合を除いては配慮している。		利用者、家族の立場、気持ちになってダメージを今後も最小限に防ぐように努めたい。
			(外部評価) 新しい職員が入った時には、利用者への言葉づかいや笑顔で挨拶することの大切さを伝え、数日は、先輩職員に付いて学ぶようにされている。ユニット間で職員や利用者は行き来されており、事業所全体の職員間でコミュニケーションを図っておられる。		
5. 人材の育成と支援					
19	10	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) グループホーム協会の研修、その他の研修・講演に定期的に参加している。		幅広い視野の中から選んだりできるように、今後も多く機会を持ちたい。
			(外部評価) 職員は、県GH連絡協議会の相互評価事業や東予地区研修会に参加されている。研修受講後は、毎月行われるユニット会で報告し、共有されている。法人内でも月1回研修が行われ、最近ではノロウイルス対策について学ばれた。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
20	11	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	(自己評価)		
			グループホーム協会にも入り研修、見学等を通じて、サービスの質の向上を目指している。		お互い歩み寄り、協力、助け合いながらサービスの質、向上に向けて努めていきたい。
			(外部評価)		
			地域の福祉施設の文化祭に利用者とともに参加し、バザーを楽しまれた。職員は、相互評価事業に参加し、他事業所で手作り石鹸の作り方を教えてもらった。		事業所の行事等に他事業所の方達もお誘いし、交流をしていきたいと考えておられた。さらに、ネットワークを広げ、貴事業所のケアの質向上を目指していかれてほしい。
21		職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	(自己評価)		
			悩みや困っている事は皆で話し合いながら解決できるよう職員の親睦会も行っている。		業務中交代で休憩を取っている。専門の休憩室も確保している。
22		向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	(自己評価)		
			職員の体調、様子を見ながら個人面談を行ったり、声かけながら助け合い向上心を持って働けるよう努めている。		
安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
23		初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価)		
			利用者の相談はほとんどなく家族が来る事がほとんどであるが少し落ち着いた頃を見て思いを聞く機会を多く持ち、努めていきたい。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
24		初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 相談や見学時、利用後も話し合いの場や機会をつくり、お互い協力するよう努めている。		今後も努めていきたい。
25		初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) まず必要としているサービスを職員で話し合い、本人と家族に納得してもらええる考え、対応に努めている。		いろいろな情報収集が必要である。
26	12	馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	(自己評価) 環境が変わるとストレスもかかってくる為まず、2～3回の体験入居から始めている。 (外部評価) 入居前には、ご本人に2～3日体験入居していただき、雰囲気を味わってから、決めてもらえるようすすめておられる。又、ご本人が事業所に慣れるまで、ご家族が宿泊されることもある。		家族等と協力しながら利用者の立場を考えながら工夫していきたい。
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
27	13	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	(自己評価) 利用者から掃除の仕方、料理、裁縫など教えて頂く事が多い。 喜怒哀楽を共に分かち合えるよう努めている。 (外部評価) 職員は、利用者から昔の歌を教えてもらったり、梅干しやラッキョウの漬け方を教えていただきながら手作りされている。入浴後、利用者から「ありがとう、気持ちよかったよ」等、声をかけていただくこともある。		昔を回想しながら発揮できるよう雰囲気作り、声かけ等を工夫し、深く支え合う関係に努めていきたい。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
28		本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 家族のように本人を支えていけるよう務めている。 家族と相談しながら、話し合いながら2人3脚で支援している。		
29		本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	(自己評価) 家族と本人の関係をよく理解し、いつまでも良い関係でいられるよう支援している。		
30		馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないう、支援に努めている	(自己評価) 本人が馴染みにしてきた美容院や理髪店、買い物にお行っていた店等を利用し、関係に努めている。		難しい場合もあるが本人の今まで通りの生活を考え努めていきたい。
31		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	(自己評価) 利用者同士、楽しく雑談したり、声かけ合ったり、愚痴を聞いたり、慰めたりと関わり合えるよう努めている。		利用者同士くつろげる空間を多く作っていきたい。
32		関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	(自己評価) 利用が終了しても近況報告を聞いたり、相談にのったり、関係を大切にしている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1.一人ひとりの把握					
33	14	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価)		
			本人の思い、希望を日々の暮らしの中で傾聴しながら把握し努めている。		ホームでどのように暮らしたいか、何を望んでいるのか、少しずつでも本人の意向を大切にしたい。
			(外部評価)		
			職員は、日々の利用者とのコミュニケーションの中から、思いや意向を把握できるよう努めておられる。		事業所では、利用者一人ひとりの思いや意向をさらに把握できるよう、アセスメントを工夫して、利用者それぞれに細やかな配慮をした支援を目指していきたいと考えておられた。
34		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価)		
			本人や家族に話しを聞きながら、今までの暮らし、生活歴等の把握に努めている。 個人記録やセンター方式も取り入れ皆が周知できるようにしている。		
35		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	(自己評価)		
			交代勤務ではあるが、申し送りや生活記録にて皆が周知できるようにしている。		
2.本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
36	15	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	(自己評価)		
			利用者の各担当職員が主となり、皆で話し合い本人がより良い暮らしをさせる為の利用者本人の介護計画作りに努めている。		今後、話し合いの機会、場所を多く持ち、広い視野で意見。アイデアを取り入れていきたい。
			(外部評価)		
			ご家族の意見や医師のアドバイスを受けて、職員は、話し合い介護計画を作成されている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
37	16	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	(自己評価)		
			定期的な見直し以外に見直しが必要な時は家族に連絡を取り話し合い、本人の現状にあった計画を行っている。		
			(外部評価)		
			短期目標は3ヶ月で見直し、長期目標は6ヶ月で見直しをされている。又、退院時等、状態に変化があったような場合には、随時見直しをされている。		
38		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価)		
			いつもと違った様子に気づき、利用者の言葉等を具体的に記入し、皆が周知できるようにしている。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
39	17	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	(自己評価)		
			ショートステイの体制を整えているが今の所、利用は無い。		幅広く柔軟な支援を心がけていきたい。
			(外部評価)		
			理容室へ出かける際や病院の送迎等、利用者やご家族のご都合等にも合わせて支援されている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
40		(自己評価) 地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	定期的に運営推進委員会を開き、ホームの活動理解に努めている。利用者も参加また大学生や中学生のボランティアに来所したりと、地域密着に努めている。		今後も連携を取ながら地域の中の生活を支援したい。
41		(自己評価) 他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	今のところ必要が無い。必要であれば支援したい。		要介護4・5の方もおり理容店サービス等のサービスについて知りたい。
42		(自己評価) 地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	運営推進会議により関係作りはできている。		活動としては、ほとんど動いておらず、今後に期待したい。
43	18	(自己評価) かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	家族と相談し、希望を聞きながら納得できる期間を利用してもらっている。ホームでも定期的な往診を行っている。		
44		(自己評価) 認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	日頃の往診にて状態を理解して貰っている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
45		看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	(自己評価) 医療連携加算が入っていないが主治医とはいつでも相談できるようにしている。		
46		早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	(自己評価)		
47	19	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	(自己評価) 家族からの意向を聞きながら終末期に向けて主治医と連携できるように相談している。		今の所経験がなく将来を予想して備える。
			(外部評価) 入居時、ご本人が重度化した場合や終末期の支援についての方針を説明されている。必要に応じて医師やご家族と話し合われている。		さらに、重度化や終末期のあり方については、ご家族も不安や心配なことでもあり、早い段階から話し合いを行うような取り組みも期待される。
48		重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	(自己評価) 急変時の対応について、マニュアル等作っている。終末期については、家族との連携が必要であり相談し合っていきたい。		経験がなく将来を予想して備えたい。
49		住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	(自己評価) 入院されたり、他施設に移る時、安心して今までの生活が継続できるようアセスメント等情報を伝達している。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1.その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
50	20	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	(自己評価) 採用時に個人情報保護法の説明をしている。言葉かけについてはミーティング等でたびたび話し合いをしている。		慣れがでてくると、うっかりということもあり意識して対処したい。
			(外部評価) 調査訪問時、職員は、笑顔で利用者に接しておられた。職員同士で言葉かけ等、気になる場合は注意し合っておられる。		
51		利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	(自己評価) 理念でもあり、細かいことでも決定できるような言葉かけの配慮をしている。		本人の思いや表せやすい雰囲気作りに努めていきたい。
52	21	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) ゆっくりゆったり急がないをモットーにペース作りをしている。 行事等、一人一人に意向を聞いて参加できるよう声をかける。		ミーティング時などで反省会を開いている。
			(外部評価) 職員は、利用者を選んでいただくことを大切にされている。日々、ご本人に意向を聞きながらかわっておられ、調査訪問時、利用者の状態を踏まえて「ゆっくり食べてくださいね」と声をかけておられた。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
53		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	(自己評価) 皆さん自分の好みの洋服を着られ美容院を希望され家族に協力してもらって行っている。		
54	22	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 毎日の食事は業者が入っている月2、3回手作りを行っている。季節の物は取り入れるよう心がけている。 (外部評価) 副食のみ配食となっているが、つくしやわらび、野菜等、季節のもの等が手に入った時には、皆で調理をされている。訪問時、利用者・職員ともに同じテーブルで、当日のメニューについて話したり、楽しくおしゃべりしながら食事されていた。		一人一人の好みを引き出しメニューに生かしていきたい。 さらに、利用者が食事一連の流れにかかわるような機会を増やしていかれてはどうか。
55		本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	(自己評価) 現在、たばこ・お酒を希望する人はいない。おやつは家族の方が来所時に持ってきてくれる。(ホームでも10時・15時におやつを希望を聞いたりしている。)		
56		気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	(自己評価) 現在の状態をたびたび話し合い排泄のパターンを配慮するようにしている。次の人が気持ちよく使用できるよう課題は多い。		プライドやプライバシーを大事にしながら、気持ちよく排泄できるよう支援したい。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
57	23	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	(自己評価)		
			午後からの入浴が多いが、希望に応じて午前中にも入浴している。 入浴剤も喜ばれ気持ちよく入られている。		入浴を拒否する利用者にも気持ちよく入浴してもらえるよう支援に努めたい。
			(外部評価)		
			利用者の中には、歌を歌いながら入浴されたり、仲の良い利用者同士で入浴される方もおられる。入浴を嫌がられる方は、ご家族と一緒に入浴されることもある。		
58		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	(自己評価)		
			昼間の活動を取り入れ一日の生活リズムを配慮し安眠できるよう支援している。 体調に合わせて個別の休憩にも努めている。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
59	24	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	(自己評価)		
			利用者の得意な事、できる事を出来る限りしてもらって、感謝の気持ちを随時伝えるようにしている。 教わる事が沢山あり話をよく聞くようにしている。		外食や散歩、その他希望を聞きながら支援していきたい。
			(外部評価)		
			ふきんや雑巾を縫ってくださる利用者の方もおられる。広告でごみ入れを作ってくれたり、カレンダーの色塗りや風船バレー等、参加の希望を聞きながら支援されている。		さらに、ご家族から生活歴を聞き取り、支援につなげていかれることが期待される。利用者一人ひとりの役割や気晴らし、張り合いが持てるよう、この機会に話し合わせてみてほしい。
60		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価)		
			家族に協力して頂き利用者が自由に使えるように小遣いを預かっているがほとんどが事務所で管理している。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
61	25	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	(自己評価)		
			利用者の体調をみながらできる限り散歩に行っている。		できるだけ閉じこもらないように外へ出かけるよう努めている。
			(外部評価)		
			遊歩道を散歩されるのが日課となっている方がおられ、近所のお寺やお地藏さまをお参りされている方もいる。公園へお花見に出かけられたり、ドライブを楽しまれることもある。		
62		普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	(自己評価)		
			家族のように本人を支えていけるよう務めている。家族と相談しながら、話し合いながら2人3脚で支援している。協力も得ながら今後機会を増やしていきたい。		
63		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価)		
			電話を取り次いだり、電話をかけたりにしている。年賀ハガキは出せるよう支援している。		
64		家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	(自己評価)		
			自宅でゆっくり過ごしてもらえるようあたたかい雰囲気作りに努めている。笑顔であいさつを大切にしている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4) 安心と安全を支える支援					
65		身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) 職員間で話し合い勉強したり理解しており、ケアに努めている。		
66	26	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	(自己評価) 夜間以外は出入口に鍵をかけていない出入口廊下にはチャイムを取り付け鳴るようにしている。 スタッフも見守りに努めている。		
			(外部評価) 事業所の出入口にチャイムを設置されており、人の出入りが分かるようになっている。利用者から外出したいと申し出があれば、職員と一緒に出かけるようにされている。		
67		利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	(自己評価) 常に声から、見守りに努めている。 その場を離れる時は職員間で声かけを徹底し、安全に努めている。		入口を出るとすぐ階段あり。 今後も安全に留意していきたい。
68		注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	(自己評価) 利用者の状態や状況に応じて対応している。		利用者の変化によって危険物の対応はその都度、考慮したい。
69		事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	(自己評価) 定期的な消防訓練や事故防止のための勉強会を行っている。 ヒヤリハット報告書もあり事故防止に努めている。		今後も研修会に参加し知識を学びたい。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
70		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	(自己評価) マニュアルを作り、勉強会も行っている。		今後、訓練や勉強会を多く持ちたいと思っている。
71	27	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	(自己評価) 緊急連絡網やマニュアルもあり避難場所も確保している。地域の方にも声をかけている。 (外部評価) 利用者とともに、避難訓練を実施された。運営推進会議で地域の方の協力をいただけるよう、働きかけておられる。		地域や他施設とも協力、助け合いを日頃より働きたい。 避難訓練時には、地域の方も参加していただいて、実施したいと考えておられた。
72		リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にした対応策を話し合っている	(自己評価) 入居時に家族へ説明している。 ケアプランも取り入れ自由な暮らしの大切さを考慮し、努めたい。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	(自己評価) 日々、バイタルチェックを行い記録している。 身体状態の変化や異常があった場合は、医者にも相談し話し合い申し送り等によって職員全体で情報を共有し、対応に努めている。		今後も努めていきたい。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
74		<p>服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>	<p>(自己評価) 薬の処方箋はいつでも目を通せるようにしている。新しい薬は申し送りにて全職員に知らせている。必要に応じて症状の変化の記録もし、医師に知らせている。</p>		
75		<p>便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる</p>	<p>(自己評価) 医師に相談しながら食事、水分量に気をつけている。散歩や体操等、運動への働きかけもしている。</p>		
76		<p>口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている</p>	<p>(自己評価) 毎食後、歯みがきの声かけを行い一人一人の口腔や力に応じた支援に努めている。</p>		
77	28	<p>栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>(自己評価) 食事は栄養バランス、カロリーを配慮している。食事量、水分量は記録にて摂取量を把握している。 (外部評価) 居間のカウンターにピッチャーを置き、お茶が飲めるようにされている。調査訪問時の昼食後、利用者・職員でお茶をゆっくり楽しんでいた。</p>		
78		<p>感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)</p>	<p>(自己評価) インフルエンザ予防接種は毎年全利用者、全職員が行っている。手洗い、うがいの励行等予防に努めている。</p>		<p>研修に参加し勉強会も行っていきたい。</p>

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
79		食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	(自己評価) 保管、管理方法を取り決め、安全に努めている。ふきん等は毎食後、消毒している。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1)居心地のよい環境づくり					
80		安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	(自己評価) 季節の草花を置いて、明るく親しみやすい雰囲気にも努めている。		
81	29	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 清潔でのんびりくつろげるような居心地のよい空間作りに努めている。 (外部評価) 調査訪問時、居間には、利用者の方が散歩時に摘んで来られたすすきが飾られていた。ソファや長椅子が共用空間に配置され、利用者は、それぞれの場所でくつろいでおられる様子が見えた。		共用の空間は気持ちよく使用できるよう努めていきたい。
82		共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	(自己評価) 限られたスペースではあるが長イスやソファを活用し、くつろげるよう工夫している。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
83	30	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価)		
			使い慣れたもの、好みのものとの状態に合わせて安心して過ごせるように配慮している。		家族と相談、利用者にも聞きながら本人にとって居心地の良い居室に努めたい。
			(外部評価)		
			居室の入口には、ご家族が持って来られたのれんを掛けておられた。仏壇や家族の写真、本等を持ち込まれていた。ご自分でモップをかけて掃除をされる方もいる。		
84		換気・空調の配慮 気になるにおいや空気よどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	(自己評価)		
			換気や冷暖房による温度調節をこまめに行い配慮している。消臭剤も利用して気を付けている。		衛生面での清潔保持に気を付けていきたい。
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり					
85		身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価)		
			バリアフリー、滑りにくい床、手すり等設備に工夫している。		今後も状態に応じて工夫していく必要がある。
86		わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	(自己評価)		
			各居室に表札をかけた、好みで目印をつけたり混乱や失敗を防ぐよう努めている。		
87		建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	(自己評価)		
			自由にベランダに出入りでき、洗濯物を干したり、日なたぼっこ等している。裏庭に畑を作っている。		

. サービスの成果に関する項目		
項目	取り組みの成果 (該当する箇所を 印で囲むこと)	判断した具体的根拠
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (自己評価) ①ほぼ全ての利用者の 2 利用者の2/3くらいの 3 利用者の1/3くらいの 4 ほとんど掴んでいない	個人記録に目を通し、各人の生活歴を把握し、日々の暮らしの中での会話、態度等をもとに支援方法を考え実行するように努めている。
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (自己評価) ①毎日ある 2 数日に1回程度ある 3 たまにある 4 ほとんどない	午前・午後のおやつ時、食後の一息後ゆったり過ごし会話を楽しむことを大切にしている。
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (自己評価) ①ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	居室内やホール内の限られたスペースでそれぞれが自由に自分のペースで過ごされている。
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (自己評価) ①ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	不安を取り除く声かけやよく話を聞いている。一人一人の好きなことを支援している。
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (自己評価) ②利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	利用者の状態をみながらできるだけ支援している。家族の方の協力も得ている。
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (自己評価) ①ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	定期的な医師の往診があり安心感を得ている。一人一人の状態に合わせた支援に努めている。
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (自己評価) ①ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	利用者の身体、精神状態の変化に、その都度話し合い一人一人に合わせた対応している。
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (自己評価) ②家族の2/3くらいと 3 家族の1/3くらいと 4 ほとんどできていない	利用者の状態を報告し希望を聞くように努めている。電話にて報告することもあり信頼関係に努めている。
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (自己評価) ③たまに 1 ほぼ毎日のように 2 数日に1回程度 4 ほとんどない	家族、知人が訪ねてきたり、中学生のボランティアも来てくれたりする。

項 目	取 り 組 み の 成 果 (該 当 する 箇 所 を 印 で 囲 む こと)	判 断 し た 具 体 的 根 拠
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (自己評価) ② 1 大いに増えている ② 2 少しずつ増えている 3 あまり増えていない 4 全くいない	回数を重ねるたび、グループホームのことを理解していただき関係が広がっていると思われる。
98	職員は、生き活きと働けている (自己評価) ① 1 ほぼ全ての職員が 2 職員の2/3くらいが 3 職員の1/3くらいが 4 ほとんどいない	笑顔を絶やさず、関係も良く元気に働いている。
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う (自己評価) ① 1 ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	よく話を聞くようにして信頼関係を築きできる限り希望にそえるようにしている。
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う (自己評価) ② 1 ほぼ全ての家族等が ② 2 家族等の2/3くらいが 3 家族等の1/3くらいが 4 ほとんどできていない	家族との話し合いや表情からも満足していただいていると思っている。これからも努力していきたい。

【特に力を入れている点・アピールしたい点】
 (この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

(自己評価)